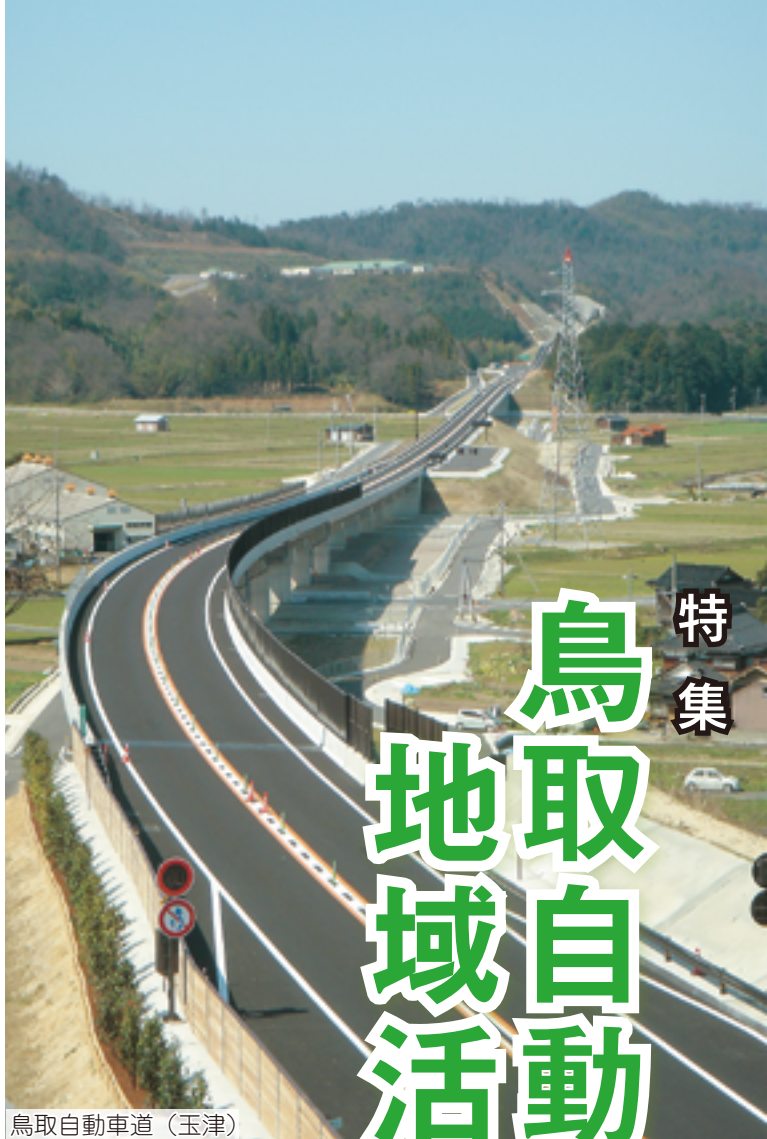




砂の美術館やB-1 グランプリ in Tottori には、県外からたくさんのお客さんが来場



昨年11月に鳥取市へ進出したフロンティアファクトリー製品は早朝に出荷



鳥取自動車道(玉津)

特集

鳥取自動車道全線開通を 地域活性化の起爆剤に

鳥取自動車道は、鳥取ICから佐用JCTを結ぶ全長62.3km[※]の無料の高速道路です。大原ICから西粟倉ICの区間が、3月23日(土)に供用開始され、ついに全線開通を迎えます。
問い合わせ先 本庁舎都市企画課 TEL 0857-20-3253

国民の1割がターゲット

鳥取自動車道全線開通により、本市から姫路市までの移動時間が1時間40分、大阪市・岡山市までの移動時間が2時間30分に短縮。京阪神・山陽地域へのアクセスが非常によくなるとともに、地域間の結びつきが一層強くなります。

昨年オープンした鳥取砂丘砂の美術館。来館者アンケートでは、6割を超える来館者が近畿・中国地方から訪れています。また、高速道路網の整備により、本市から自動車です3時間以内の範囲に、国民の1割にあたる約1200万人が居住することになります。これらの人々をターゲットに、「高

速で鳥取市は近い」というイメージを浸透させ、しゃんしゃん祭や全国都市緑化とつとりフェア、砂の美術館、山陰海岸ジオパークなど、本市の観光資源を戦略的にPRしていきます。

企業進出にもメリット

平成22年3月28日の鳥取自動車道県内区間の開通以降、鳥取姫路間の高速バスの再開や鳥取神戸・大阪便の便数増加など、交通機関の利便性が向上しました。また、自動車道を行き来する貨物量が増加。移動時間の短縮や交通渋滞の減少が、企業の物流コストの削減につながっています。

本市は、市街地から空港や港湾

★鳥取自動車道開通記念企画★

★因幡・美作・西播磨ふるさとめぐり
スタンプラリー開催中！

スタンプラリーポイントでスタンプを集めて応募すると、抽選で100人に、素敵な賞品が当たります！
たくさんのご応募をお待ちしています。

■応募期間 5月31日(金)まで

■スタンプラリーポイント

- ◇道の駅 神話の里白うさぎ(鳥取市白兔)
- ◇道の駅 清流茶屋かわはら(鳥取市河原町)
- ◇道の駅 あわくらんど(岡山県英田郡西粟倉村)
- ◇道の駅 宿場町ひらふく(兵庫県佐用郡佐用町)
- ◇道の駅 はっとう(鳥取県八頭郡八頭町)
- ◇道の駅 若桜桜ん坊(鳥取県八頭郡若桜町)
- ◇武蔵の里 楽市楽座(岡山県美作市宮本)
- ◇石谷家住宅(鳥取県八頭郡智頭町)
- ◇上月PA(中国道上下線・兵庫県佐用郡佐用町)
- ◇山陰海岸学習館(岩美郡岩美町)
- ◇鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり
(鳥取市福部町)

■賞品

- 鳥取自動車道全線開通記念賞(1万円相当) 15人
- 因幡・美作・西播磨ふるさと賞(5,000円相当) 30人
- 水と緑のオアシスとっとり花トリピー賞(2,500円相当) 55人

※応募方法など、詳しくは本市公式ウェブサイトをご覧ください(<http://www.city.tottori.lg.jp/>)

★講演会・シンポジウム開催！

鳥取自動車道の全線開通と無料の高速道路の利点などを市内外へPRするため、講演会とシンポジウムを開催します。ぜひご参加ください。

■日時 3月24日(日)、13:00~16:30

■場所 鳥取市民会館(掛出町12)

※詳細は、本市公式ウェブサイトでお知らせします

★鳥取自動車道開通記念特別番組

■日時 3月29日(金)、16:30~17:00(30分番組)

■放送局 日本海テレビ(1ch)

※詳細は、本市公式ウェブサイトでお知らせします

★鳥取自動車道開通式典

■日時 3月23日(土)、14:00~

■会場 宮本武蔵顕彰武蔵武道館(岡山県美作市)

※西粟倉IC付近ではテープカットが行われます。

■一般交通開放時間 17:30~

★鳥取自動車道沿線地図



★鳥取市から各都市への所要時間

都市名	所要時間		短縮時間
	整備後	整備前*	
大阪市	2時間30分	3時間20分	50分
姫路市	1時間40分	2時間30分	50分
岡山市	2時間30分	3時間00分	30分

※整備前は鳥取IC~佐用JCTのいずれの区間も未開通だった時点での時間

が近いというメリットがあり、東日本大震災発生以降、リスク分散のために事業所や工場の移転を考える企業が本市に興味を示しています。平成24年には7社の企業が本市に進出。これにより1015人の雇用創出が計画されています。

本市は、平成22年度から25年度までの4年間で、5000人以上の雇用創造を目標に、今後も多様な企業のニーズを把握しながら鳥取自動車道の全線開通をセーリングポイントに雇用の拡大と産業振興を推進していきます。